

創立20周年

日本介護食品協議会は、20年前の平成14(2002)年4月26日、38社の加盟企業をもって発足いたしました。

設立の趣旨を、「介護食なるもののニーズが高齢者のみならず幅広い層で、今後ますます高まるものと予測され、その仕様を含めた基準が統一されると、誤飲、誤食の防止が行われ、使用者またはヘルパーも受け入れが円滑、かつ安心して使用ができるものと考えられる。さらには提供者側の信頼性がより高まることは必至であることを観点に、消費者の混乱を防ぐ、国民の健康の保持・増進に寄与するとともに業界の健全な発展に資することである」としていましたが、現在からさかのぼってこれを見ても、この20年の間、まったくぶれずに活動を継続してまいりましたことについて感慨を覚えます。

団体設立は、「介護食のGMPガイドライン」策定を目的とした会合招集から始まりましたが、これが平成12(2000)年10月のことでした。この後「介護食協議会(仮称)設立ワーキンググループ」を経て、約2年後に「日本介護食品協議会」が誕生いたしました。

当時、わが国の人口構成は高齢社会から超高齢社会の過渡期にあり、平成12(2000)年は介護保険制度がスタートした年でもあります。食品業界においても「介護」をコンセプトとした加工食品が回り始めたところでした。

このような背景の中、以降の「介護食品」市場に必要な考え方として「ユニバーサルデザインフード(UDF)」という秩序を提唱し、常に業界の先頭に立ち、普及や自主規格整備の活動を積み重ねてまいりましたが、この20周年もまだ経過点にすぎませ

ん。もちろん、この間に少しずつではありますが成果も蓄積してまいりました。発足当時は、その存在すら知られるものではなかった「介護食」が、今では国民の2人に1人が知るところとなった*のは紛れもなくこの活動の成果の1つに他ならないと自負いたします。また、当時、展示会等でUDFの画期的な考え方をお伝えするも「どこで買えますか」の回答には窮しておりました。現在では、会員企業の努力によりその答えに事欠くことはありません。

さて、今月以降、本会では20周年に合わせた記念の事業を実施してまいりますが、次回以降の本コーナーでもお知らせしていく予定にしております。

*令和2(2020)年に本会が実施したWeb調査結果から。

【UDF商品登録状況(2,208品目・2月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	拡張	合計
乾燥食品	0	11	8	0	97	4	120
冷凍食品	335	253	792	20	0	0	1,400
常温食品	234	81	210	161	2	0	688
合計	569	345	1,010	181	99	4	2,208

【会員の異動(2月)】

計93社(2月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<https://www.udf.jp/>